

T.M.P.H.ニュース

2018 Winter Vol. 21

Tokyo Metropolitan Police Hospital News

CONTENTS

- 新年のご挨拶【院長・看護部】
- 医師コラム「脳梗塞と頸動脈狭窄症」について
- 回復期リハビリテーション病棟(9階西病棟)の紹介
- 栄養相談について
- クリスマスコンサート
- 区民健康講座のご案内
- 予防医学センターの紹介



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。旧年中は、多くのご指導、ご支援を頂き、誠にありがとうございました。

さて、新年を迎え我が国の状況に目を向けますと、皆様もご存知のように我が国は膨大な債務残高を抱える借金国であり、財政健全化は国際公約となっております。そのような厳しい財政状況を踏まえ、医療費を含めた社会保障費の見直しが強く求められております。一方では、団塊の世代が後期高齢者(75歳以上)となる2025年を控え、超高齢化社会の医療をどのように構築していくかは医療制度上の大きな課題となっております。

財政健全化のための社会保障費の削減と高齢者増加に伴う医療費の増大、この二律背反するようなテーマをいかに解決していくかは、今後しばらくの間、我が国に課せられた大きな命題になるとともに、我々の病院運営・経営にも直接

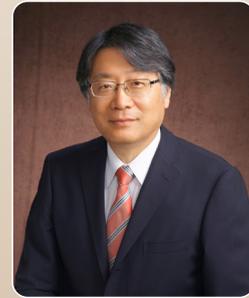
的影響をもたらします。詰まる所、国の財政と病院運営・経営は切っても切れない関係にならざるを得ない状況にあるということになります。

具体的には、本年4月に予定されております診療報酬改定ではマイナス改定が予測されております。しかし、厚生労働省から出された最新のデータによれば、先の平成28年度の診療報酬改定後には病院経営における赤字幅が拡大したとしており、多くの病院経営者からは「本当にひどい経営状況」である、と呼ばれております。このような厳しい状況の中、当院においても様々な対応が急務となっております。多くの点で皆様方のご理解とご協力が必要となる場面も出てくると思われませんが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、当院の概況につき目を向けてみますと、平成20年の中野区移転以来、地域に密着した基幹病院として、安全で高度な医療の提供に努めてまいりました。昨年はその一環としてPET-CT

検査機器の導入、脳血管内治療科の新設、中野・杉並・練馬地域で初となる脳卒中治療専門病棟の「脳卒中ケアユニット(SCU)」の開設など、病院の施設面および機能面における改良を行いました。

今後も当院の基本方針である「私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します」を実践し、地域から「頼られる基幹病院」であり続けられるよう、全職員一丸となって努力していく所存でございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



院長 白井 徹郎



あけましておめでとうございます。

看護部

つつがなく新年をお迎えの事と存じます。昨年の年頭のご挨拶に「暖かいお叱りとご指導を承りたい旨」を書かせていただきました。当院の外来や病棟ラウンジに設置しております『提案箱』に投函されたご意見は大きく苦情・要望・感謝に分類して、該当する部署へ報告や連絡があり、検討、改善を重ねて全職員へ開示されます。

一昨年の9月から昨年8月までの一年間では297通の投函がありました。その内訳は苦情36%、要望43%、感謝21%でした。苦情よりも要望が多かった結果にほっとすると同時に、東京警察病院に対する皆様方の期待が大きいことを実感します。「外来待合をこうして欲しい」「こんな改善をしてもらって快適な入院生活がおくれる」など、「東京警察病院!もっとがんばれよ」と、背中を押される思いです。

外来やベッドサイドで直接患者様に接する機会が多い看護職員に対し、接遇については厳しく指導を重ねておりますが、思いも寄らないようなお叱りの言葉を頂戴することがあります。そのような中、21%の感謝の中には「優しい看護を受けた」「いやな顔もしないでおむつをかえてくれた」「忙しい中、手を握って話を聞

いてくれた」など、対応した場面や個々の看護職員の姿が目につく文面で綴られていることもあります。

今年の4月には、地域の期待に応える病院として移転開院10年の節目を迎えます。多くの方に「また、何かあったら家族とともども東京警察病院でお世話になりたい」と、言っていただける病院を目指し、改善に取り組んでゆきたいと考えております。

本年も暖かいお叱りとご指導を承りますようお願い申し上げます。



東京警察病院
Tokyo Metropolitan
Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

- Thoughtful(ソートフル)..... 患者様の立場に立った医療を目指してまいります
- Technical(テクニカル)..... 医療レベルの向上に努めてまいります
- Trustworthy(トラストウオージー)..... 皆様の信頼に応えてまいります

医師コラム

「脳梗塞と頸動脈狭窄症」について



脳血管内治療科 部長／脳卒中センター長
佐藤 博明

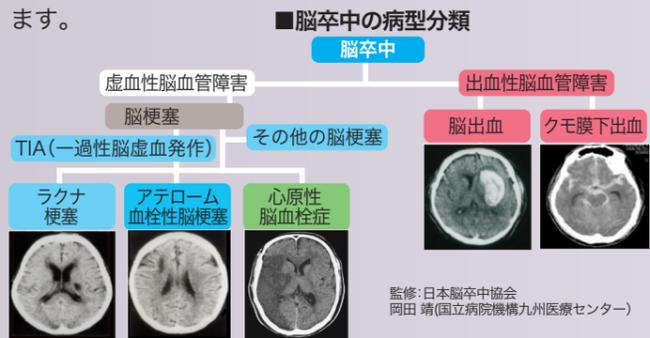
【専門領域】
脳血管内治療
(急性期血行再建、脳動脈瘤塞栓術、
頸動脈ステント術など)
脊椎脊髄疾患の手術
【主な資格】
日本脳神経外科学会 専門医
日本脳神経血管内治療学会 認定指導医
日本脊髄外科学会 認定医

1. はじめに

よく耳にする脳卒中という病名は脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などの総称です。以前は日本人の死亡原因の第1位は脳卒中でしたが、現在では第4位になっています。しかし実は後遺症のために寝たきりになる原因の第1位は脳卒中であり、特に脳梗塞に罹患する患者さんの数は近年増加しており、それ故この疾患を予防することが非常に重要です。今回は脳の血管が閉塞する(つまる)ことにより脳細胞に障害が及ぶ脳梗塞と、その重大な原因のひとつである頸動脈狭窄症に関してご説明いたします。

2. 脳梗塞の分類

脳梗塞は大きく3つに分類されます。1番目が細い動脈がつまるラクナ梗塞、2番目が比較的太い動脈がつまるアテローム血栓性脳梗塞、そして3番目が心臓など脳以外の場所からきた血栓(血の塊)が脳の血管をつめてしまう脳塞栓症です。かつて日本では比較的症状が軽いラクナ梗塞が多かったのですが、食生活や生活習慣の変化などにより、現在では症状が中等症から重症であるアテローム血栓性脳梗塞が増加してきています。

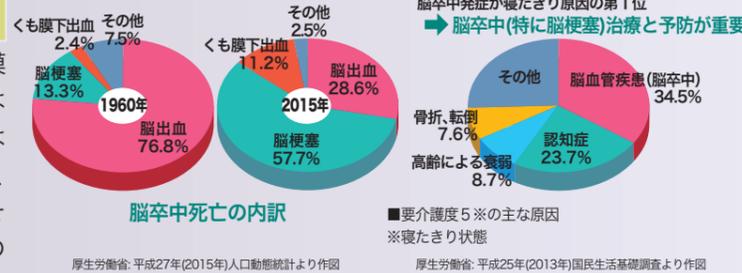


3. アテローム血栓性脳梗塞の原因となる頸動脈狭窄症

糖尿病や高コレステロールなどにより血管の内側にプラークと呼ばれる沈着物が付着して来ると、内頸動脈を狭くしてアテローム血栓性脳梗塞の原因になります。また内頸動脈が突然閉塞すると生命にも関わる重大な脳梗塞を生じることにもなり、早期に頸動脈エコーやMRI検査を受け頸動脈をチェックして動脈硬化の程度を把握し脳梗塞を予防することが重要です。

脳梗塞はまず予防することが重要ですが、万が一発病したときには早期の治療が必要です。当院では2017年9月からSCU(Stroke Care Unit)という脳卒中専門の病棟を開設して、脳梗塞の超急性期から慢性期にかけて診断、治療、そしてリハビリテーションを行うことができる脳卒中センターを運営しています。脳梗塞の診断から治療に関してもお一人お一人に最適な方策を提供することが可能です。皆様の健康管理のために東京警察病院脳卒中センターをどうぞご利用ください。

■脳卒中の主な原因は脳出血から脳梗塞へ ■要介護5(寝たきり状態)の主な原因



4. 頸動脈狭窄症と脳梗塞の症状

狭窄が進行してプラークが剥がれて脳に飛んでいってしまうと様々な症状を呈します。力が入らない(麻痺症状)、歩けない(歩行困難)、手足がしびれて動かせない(感覚障害を伴う運動機能障害)、ろれつが回らない(構語障害)、言葉が話せない(失語症)などです。特に血管が90%以上も狭くなると脳血流が低下して一時的に症状を呈することがあります(一過性脳虚血発作)。

5. 頸動脈狭窄症の治療

狭窄度が50%以下であれば内服薬加療が第一選択です。内服薬加療を行っているにもかかわらず脳梗塞症状を呈した場合には、外科的治療が必要となります。その方法には2つあり、以前から施行されている方法は「頸動脈内膜剥離術」です。全身麻酔が必要であり頸動脈を切り開き、中に付着しているプラークを剥離します。手術手技は確立されており長年頸動脈狭窄症治療のスタンダードでした。しかし近年ではさらに先端的な治療が行われるようになってきました。それが頸動脈ステント術(Carotid artery stenting: CAS)です。

6. 頸動脈ステント術(CAS)

この治療法は近年急速に行われるようになってきた方法で、局所麻酔で行うことができカテーテルを使用し頸部の狭窄部にステントという形状記憶合金の筒を留置して血管を内側から拡張する方法です。術後はMRIを施行することもでき、日常生活にも全く問題ありません。当院は、低侵襲治療(お体に負担の少ない治療)である頸動脈ステント術の治療経験が豊富で、脳梗塞治療として積極的に施行しています。

回復期リハビリテーション病棟(9階西病棟)の紹介

少子・超高齢化社会の中、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、『住まい・医療・介護・予防・生活支援』が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が推奨されています。

在宅復帰を目的として医療専門職がチームを組み、医学的・社会的・心理的なサポートと集中的なリハビリテーションを実施しています。回復期リハビリテーション病棟を利用する場合、制度上「発症から回復期リハビリ病棟に転入するまでの期間」「入院可能な期間」とそれぞれに期間が設けられており、例えば脳血管障害と診断された場合には、病状によって異なりますが「発症から最大180日」となっています。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による専門的なリハビリはもちろんですが、朝起きてから寝るまでの入院生活の全てがリハビリと捉え、看護師・介護福祉士が患者様の個性性を考え、できる限りご自身の力で生活できる様に努めています。

当病棟は、当院入院中の脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の急性期治療後の患者様を対象としており、原則として他の医療機関からの紹介入院はお受けしておりません。



回復期リハビリテーション病棟(9階西病棟)のスタッフ

着替えること...食べること...トイレに行くこと...お風呂に入ること...薬を管理すること...時間管理をすること...など、日常生活すべてをリハビリと考え、お一人お一人に合わせて訓練内容を検討して実施しています。

概要	
※病床数	30床
※回復期リハビリテーション加算1(平成29年8月取得)	
平成28年度実績	
・平成28年度における入院患者総数	208名
・在宅復帰率	98.42%
・平均在院日数	47.4日
・一日当りのリハビリテーション時間:平均6.5単位(1単位 20分 最大7単位)	
※スタッフの構成	
・リハビリ専門医	2名
・リハビリスタッフ	37名
・看護要員数(看護師・介護福祉士)	25名
・社会福祉士	1名

一日の予定です!	
6:00	起床 着替え・洗面 歯磨き 検温
7:45	ラウンジで朝食・歯磨き
8:50	ラジオ体操 訓練室でのリハビリ
10:00	検温
12:00	ラウンジで昼食・歯磨き
13:00	訓練室でのリハビリ
16:30	レクリエーション
18:00	ラウンジで夕食・歯磨き
20:00	就寝準備 着替え
21:00	消灯

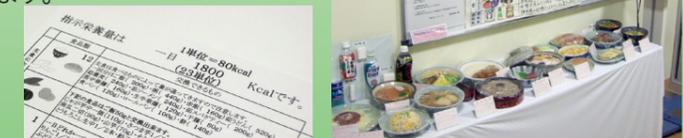
訓練室以外でも看護師・介護福祉士と一緒に立ち上がりや歩行練習をします。

栄養相談について

東京警察病院栄養科では、食事療法が必要な場合、医師の指示のもと個人栄養指導を月曜から土曜まで週6日実施しております。食事療法はエネルギー制限、蛋白制限、塩分制限、脂肪制限や胃切除後の食事について、その他内容は多岐にわたります。

栄養指導は基本的に医師の指示のもとで実施しておりますが、もし個人で栄養指導を受けてみたい方は、まず担当医師にその旨をお伝えいただき、担当医師の依頼を受けて栄養指導を実施することになります。ご希望があれば、その後の継続も可能です。

当院栄養科では、わかりやすいプリントの配布など、理解しやすい食事療法の提供に努め、栄養指導を通じ生活スタイルに合わせて食事療法が無理なく継続できるように管理栄養士が支援しております。



- 栄養指導予約日及び時間 月曜日～金曜日 9:00～11:30
(日曜日・祝日・年末年始を除く) 13:30～16:30
土曜日 9:00～11:30
- 問い合わせ先:東京警察病院(栄養科) 03-5343-5611(代表)

クリスマスコンサート

当院では毎年12月に、患者様やご家族のみなさんに癒しのひと時をお過ごしいただくため、クリスマスコンサートを実施しております。昨年12月19日(火)午後5時30分から1階ロビーにおいて、警視庁音楽隊が約30分間にわたり素敵な演奏を披露しました。(演奏曲目:♪木管五重奏♪(・上を向いて歩こう・ロンドンデリーの歌・クリスマスメドレー)♪サクソフォーン四重奏♪(・冬～たき火～・きよこの夜、等)



区民健康講座のご案内

地域の皆様を対象に医療の様々な分野と知識について
当院の医師がわかりやすく解説する健康講座を開催しています。

第91回 1月20日(土)午前10:30~11:30

テーマ 足の变形
— 外反母趾と扁平足 —



整形外科部長 原口 直樹

講演後は、皆様からのご質問も承ります。
たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

**受講料
無料**

◆場 所： 東京警察病院 9階 大会議室
◆申 込： 経営企画課へお申し込み下さい。

① 電話： TEL 03-5343-5611 (内線14552)
受付時間： 8:30~17:00 (日曜日・祝日・年末年始を除く)

② FAX： ホームページよりFAX用紙を印刷して頂き送信して下さい。
FAX 03-5343-5612

※電話・FAX番号をお確かめのうえ、お間違えないようお願いいたします
※各回とも定員(60名)になり次第、締め切りとさせていただきます
※当日、お車の方は病院の駐車場をご利用下さい(30分/100円)

参加者の声 ● 次回の講座が楽しみ ● 様々なテーマを開催してほしい
● 初めて知った内容があり、有意義だった ● 専門医の話が聞いて良かった
● 医療技術の進歩が分かり、希望が持った ● 説明が丁寧だった

過去に開催されたテーマ ● こわい頭痛とこわくない頭痛のお話
● 代々伝わる白癬(水虫)何故治さないのか? 何故蔓延するのか? どうしたら治せるのか?
● 人工関節とリハビリテーション ● 傷を早くきれいに治すには?

※テーマ未定につきましては、決定次第、当院のホームページ、院内掲示板等でご案内いたします。

第92回 2月24日(土)午前10:30~11:30

テーマ 女性の体調は、女性ホルモ
ンに支配されているって本当?



産婦人科部長 中澤 直子

第93回 3月31日(土)午前10:30~11:30

テーマ 未定



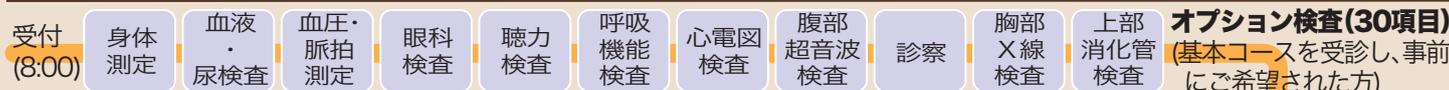
血液内科 副部長 林 達之



予防医学センターの紹介

病気の早期発見と予防のため、充実した医療機器と経験豊富なスタッフによる高度な検査を提供いたします。また、病院併設型ドック機能によるフォローアップ体制が充実しています。

基本コースの流れ (所要時間約4時間30分)



コース料金

基本コース 54,000円(税込み)

結果説明 終了 ※検査の順序は、状況により前後します。
(おおよそ12:30)

*その他、PET-CT検査等のオプションを多数ご用意しております。ご予約・お問合せ先 受付時間/ 月曜日~土曜日 10:00~16:30
予防医学センター(9階) 電話番号/ 03-5343-5750(直通)

診療のご案内

受付時間 月曜日~土曜日 午前 8:00~11:30
午後 12:30~16:00

- 自動再診受付機 稼働時間……7:30~16:00
- 自動精算機 稼働時間……8:30~17:00
※防災センター自動精算機:24時間稼働
- 休診日: 日曜日・祝日・年末年始(12/29~1/3)



レストラン「憩」
9F
営業時間: 7:30~18:00



ナチュラル・ローソン
1F ATMあり
営業時間: 6:00~21:00



P 屋外駐車場 119台 一般料金:200円/30分 受診者料金:100円/30分

理念

私たちは、医療の質の向上と患者さまの満足を目指し、
日夜努力いたします

基本方針

- 私たちは、患者さまの権利と意志を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します
- 私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します
- 私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します
- 私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します
- 私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します

患者さまの権利と責務

- **基本的権利**
良質で安全な医療を、等しく受けることができます
- **情報を得る権利**
十分な説明と情報提供を受けることができます
- **自己決定と選択自由の権利**
自己の意志に基づき、治療を選択すること、あるいは拒むことができます
- **情報保護の権利**
個人の医療情報ならびにプライバシーは、保護されます
- **責任と義務**
他の患者さまの診療、ならびに医療従事者の業務を妨げるような行為は、慎んでいただきます